

子宮頸がん検診の流れ

1 問診



初潮年齢や生理の様子、妊娠・出産の経験の有無などについて、いくつか質問があります。

2 検診(内診)



内診台にあがり、子宮頸部の状態を目でみて確認(視診)し、腔鏡で子宮頸部の状態を観察します。

3 細胞検査



やわらかいヘラやブラシのようなものを膣に挿入し、子宮頸部の粘膜を軽くなでるように採取します。まれに少しの出血があることはありますが、痛みはほとんどありません。

Q どうして乳がんではなく毎年子宮頸がんなの？

A ミュゼスタッフの平均年齢は25歳。より若い人が発症しやすく、見つけやすい子宮頸がん検査をメインにしました。

Q 子宮頸がん発見が遅くなるとどうなるの？

A 子宮を全て摘出することが多く、妊娠・出産はできなくなってしまう。
※宮頸がんは早期発見・早期治療をすれば治る可能性が高い

Q 妊娠中も受けられるの？

A X線検査や婦人科検診は受けられませんが、可能な範囲で受診可能です。

Q 健康診断前の注意事項は？

A

- 尿検査、子宮頸がん検診があるので、生理中や生理直前直後は避けましょう。
- 前日20時以降の飲食は控えましょう。お水は当日の朝まで大丈夫です。
- 遅刻、無断キャンセルは絶対駄目です。変更がある時は必ず事前に病院へ連絡しましょう。

健康診断 FAQ

Q もし、異常が見つかったらどうするの？

A 病院より再検査のお知らせが届きます。内容に従って、再検査に行きましょう。

Q 体調で気になることがある場合は？

A 健康診断の問診を活用して、先生に相談してみよう！



お問い合わせ先

人事部人事企画 國分・村田・野村・川崎(メールのみ)までお気軽にお問い合わせください。

毎年1回 健康診断の ハテナ

ミュゼプラチナムでは、毎年1回みなさんへ健康診断のご案内をしています。健康診断って何をやるんだろう？そんなハテナにお答えします。



健診項目

一般健診+各年代に合わせたオプション健診

一般健診

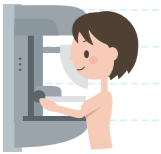
- 身長 体重 視力
- 聴力 胸部X線
- 血圧検査 尿検査
- 心電図 血液検査



各年代によるミュゼの健診

- 子宮頸がん健診：全女性スタッフ
- 子宮体がん健診：41・43・45歳以上(40・42・44歳は2,000円補助有)
- 乳がん健診：36・38・40歳以上(それ以外の年齢は2,000円補助有)

ミュゼでは、各年代に合わせた オプション健診がついています！



子宮頸がん

20代30代の女性に最も多いがん

- 子宮の出口、子宮頸部の粘膜にできる
- がん細胞の増殖はゆっくりなため、検査によりがんになる前の段階で発見可能
- 子宮頸がんの原因は、性交によって感染するヒトパピローマウイルス(HPV)。女性の8割が一生に一度は感染するウイルスで、現在100種類以上のHPVが発見されており、そのうち40種類あまりが病気を引き起こすことが判明。大部分は免疫力により自然消滅しますが10%程度が持続感染します

子宮体がん

40歳代後半から増加して50歳代から60歳代にピーク

- 子宮の奥のほうにできる
- 不正出血がある場合、検診受診をおすすめします



乳がん

発症するのは35歳以上が97%ピークは50代

- 最も大きなリスク要因は遺伝的なもの。とくに母親や姉妹に乳がんになった人がいる場合は、リスクは2倍になると言われています。
- 乳がん検診の種類
 - 【超音波(エコー)】若い女性向き
 - 【マンモグラフィー】微細な石灰化を発見できるが、若い人は見つけにくい
- セルフチェック(自己触診)なら簡単にできる

女性が多い会社ならではのオプションなんだね!

